

10年後の未来に向けて 第6次大野城市総合計画基本構想 まちの未来シンポジウム

市では、平成31年度からの新たな10年間の都市の将来像と、その実現に向けたまちづくりの展望をまとめた「第6次大野城市総合計画基本構想」の策定を進めています。

本構想の策定に向けて、広く市民の皆さんなどから意見を聴く「まちの未来シンポジウム」を、4月9日(月)から16日(月)までの間、各コミュニティセンターで行いました。167人も参加があり、市に関するクイズや、10年後を考えるワークショップなどを通じて、将来のまちの姿への活発な意見交換が行われました。

今年の夏には、今回寄せられた意見をより深く掘り下げるワークショップを開催予定です。



貴重な歴史遺産を伝えよう 小水城ゆめあかり広場完成式典

小水城ゆめあかり広場の完成式典が、4月15日(日)に開かれました。

式典は、南ん子太鼓の勇壮な演奏に始まり、広場の名付け親表彰式、小水城跡の解説などが行われました。約150人が参加し、1350年の時を越えて伝えられてきた小水城跡の重要性を改めて感じる機会となりました。

また夜には、紙灯ろうで光の文字を描く、「小水城のあかり」が行われ、幻想的な景色に約500人の参加者は目を奪われました。

小水城ゆめあかり広場は、地域の憩いの場、学習の場、交流の場として、末永く利用されることが期待されます。



心に響く音楽を

4月22日(日)、まどかぴあ大ホールで大野城市民吹奏楽団と市内の中学3年生、総勢142人による「ジョイントコンサート2018」が行われました。

市内の中学校から応募した97人の生徒たちは、1月から市民吹奏楽団の皆さんとともに合同練習を行い、熱心な指導を受けてきました。

世代も学校も違うメンバーと練習することで、改めて感じた音楽の難しさとおもしろさ。学んできたこと全てを多くの人たちの前で披露することができました。

会場に来ていた家族や吹奏楽の仲間たちは、その姿とメンバーが奏でる音楽に感動し、大きな拍手を送っていました。



大文字

暖かい季節になってきました。この季節は「週末どこに出かけようか？」と日々悩みが絶えません。

それに反して、出かけ先では悩むことが少なくなったように感じます。やはり、スマートフォンやタブレット片手に様々な情報を簡単に収集できるようになったからだと思えます。

特に地図情報アプリ(Google Maps等)は、現在地はもちろんのこと、近隣のお店や観光地など、色々な情報を提供してくれます。場所を移動するにあたってカーナビさながらの機能があり、非常に重宝しています。今更ながら、便利な時代になったものだと感じます。

そんな中、大野城市でも地図情報提供サイト「大野城まどかマップ」のサービスを開始しました。(市の委託する民間事業者により提供されます。)

市の保有する道路台帳や、ハザードマップ等をパソコンやスマートフォン等で確認することができますので、ぜひ一度ご覧になってください。

⑧